

様式第4号（第11条関係）

審議会等の会議の記録

審議会等の名称	令和2年度 第3回西脇多可行政事務組合 一般廃棄物処理施設整備委員会
開催日時	令和2年12月22日（火） 午後3時00分～午後5時00分
開催場所	北播磨清掃事務組合（みどり園） 会議室
出席委員の氏名 又は人数	学識経験のある者 大阪市立大学大学院工学研究科 教授 西村 伸也 京都大学大学院工学研究科 准教授 大下 和徹 西脇市副市長及び多可町副町長 西脇市副市長 吉田 孝司 多可町副町長 笹倉 康司 関係行政機関の職員 西脇市技監 黒坂 公晶 多可町技監 竹本 修 西脇市くらし安心部長 高田 洋明 北播磨清掃事務組合事務局長 門脇 慶尚 西脇多可行政事務組合一般廃棄物処理施設整備委員会 条例第9条により出席する委員以外の者 北播磨清掃事務組合専門員 藤原 利昭
欠席委員の氏名 又は人数	関係行政機関の職員 多可町防災環境担当理事 藤本 巧
出席職員の職・ 氏名又は人数	(事務局) 事務局長 真鍋 俊哉 資源循環課長補佐 芝 和征 資源循環課主任 神崎 貴則 資源循環課 小谷 大樹 (コンサルタント) 中外テクノス株式会社 松岡 巨恒 小寺 幸生 (関係市町職員) 西脇市環境課長 岸本 雅彦 多可町生活安全課長補佐 遠藤 任紀

公開・非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	0人
議題又は協議事項	1 開会 2 議事 (1) 前回協議内容の整理について (2) 環境保全計画について (3) 設備計画について (4) 施設全体計画について 3 その他 4 閉会
会議の記録（概要）	
発言者	
事務局	<b>1 開会</b> ○ <b>配布資料の確認</b> ○ <b>委員長あいさつ</b> ○ <b>会議の成立の報告</b>
事務局	・ 委員9名中8名出席により、会議成立を報告 ○ <b>議事録署名人選出</b>
委員長	・ 本日の議事録署名人に、黒坂委員と竹本委員を指名 ○ <b>会議の公開・非公開確認</b>
委員長	・ 非公開内容がないことを委員会において確認したため、本日の会議は公開とすることを決定 ○ <b>傍聴定員の決定</b>
事務局	・ 本日の傍聴希望者は0人であることを報告

	<p><b>2 議事</b></p> <p><b>(1) 前回協議内容の整理について</b></p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料1に基づき、事務局より説明</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>前回協議内容の整理について、質疑等はないか。</li> </ul> <p>(質疑等はなし)</p>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>質疑等がないため、次の議事に進行する。</li> </ul>
	<p><b>(2) 環境保全計画について</b></p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料2に基づき、事務局より説明</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境保全計画について、質疑等はないか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料2 4ページ図表1-4に記載されている有害物質のうち、塩化水素、二酸化窒素、二酸化硫黄の3項目を、施設稼働後の測定対象とするのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>県条例は、有害物質の測定について義務を課しているものではないが、現在生活環境影響調査で測定しているご質問の3項目については、施設稼働後も引き続き行いたいと考えている。ただし、地域住民から要望がある重金属類の測定については、生活環境影響調査で測定している項目でないため、測定の要否及び行う場合の項目についてご検討いただきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>測定を行わない項目については、ごみ処理施設から発生する可能性がゼロということか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>20ページ図表6-1にばいじんの溶出基準があるが、ここに記載されている項目については、ごみ処理施設から発生する可能性がゼロではないため、基準として掲げられていると考えている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>5ページ図表1-6において、みどり園の自主規制値が記載されているが、最低でもこの項目を測定する必要があるのではない</li> </ul>

事務局	<p>か。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図表1-6については、煙突から出る排ガスについての自主規制値であり、新施設においても引き続き測定を行う。</li> <li>・ 本日も協議いただきたいのは、敷地境界線上及び地上到達地点における有害物質の測定を行うかどうか、行うのであれば図表1-4に記載したどの項目について測定を行うかである。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特に厳しく運営を行っている施設では、カドミウム等を測定している事例がある。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 塩化水素、二酸化窒素、二酸化硫黄の3項目の測定が一般的なのか。</li> </ul>
コンサルタント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 例えば特定の有害物質を取り扱う工場が、その項目を測定するという事は理にかなっている。ごみ処理施設は有害物質を取り扱う施設ではないが、家庭等から出されるごみへの混在を考えると発生する可能性がゼロとは言えず、測定を行う必要の有無について判断しがたいところがある。</li> <li>・ 事務局から説明があったように、ばいじんの溶出基準に規定されている項目については、ごみ処理施設から発生する可能性があるものとして、注目をし、議論を進めることがよいと考える。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 直近に供用開始された他施設の事例はどうか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事例として有害物質のうち、重金属の測定を行っている施設はある。その他、県内の施設についてはホームページなどを確認する限り、有害物質の測定を行っている施設は確認できなかった。</li> <li>・ 事務局としては、塩化水素、二酸化窒素、二酸化硫黄の3項目に加えて、ばいじんの溶出基準に含まれているカドミウム、鉛、セレン化合物、クロムの4項目を追加して、計7項目について年1回の測定を行うことが地域住民の方に安心していただけるのではないかと考えている。</li> </ul>

委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>有害物質の地上到達地点濃度は極めて低くなるが、通常使用するような分析機器類で分析が可能なのか。分析費用にも影響が出てくるが、調査はされたか。</li> </ul>
コンサルタント	<ul style="list-style-type: none"> <li>費用については現段階ではわからない。分析については、サンプリング量を増やすことで測定は可能であると考ええる。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>測定頻度について年1回と説明があったが、施設供用以降は継続的に行うのか。それとも稼働前に1回、稼働後に1回と比較のみを行うということか。その点について説明をいただきたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>まずは稼働前に1回、稼働後に1回測定を行い、現状との変化を調べる。その後も引き続き年1回測定を行い、施設稼働の影響がないと判断できれば、2年に1回、3年に1回と頻度を下げていきたいと考えている。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>まとめると、「施設稼働前と稼働後の計2回測定を行い、その後は測定結果に応じて頻度を決定する。」ということになる。潤沢に資金があれば問題ないが、低濃度の物質の分析には1回当たり、数万円から10万円を超える費用がかかると聞いたことがある。頻度を下げていく予定であれば、計画書に記載する文言については工夫いただきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>図表1-4には多くの有害物質が列挙されており、このまま計画書に載せると「なぜ一部の物質についてのみ測定を行うのか」という素朴な疑問を住民に抱かせることになる。測定を行わない物質について、行わない理由についても記載すべきと考える。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民の方は、他の施設ではどの項目を測定しているか気にされるのではないか。他施設が行っていない項目を、新施設で行うとなるとそれが先例にもなってしまう。他施設の事例を追加で調査いただき、それをもって検討する必要があると考える。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>他施設の調査も必要であるが、環境保全計画の決定はいつまでに行う必要があるのか。</li> </ul>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度内を予定している。他施設の調査結果については、次回の委員会で提示したいと考える。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>図表1-4に記載の有害物質について、どの項目を測定するかは、次回の委員会において他施設の事例をもとに協議を行いたいと考えるが、意見はあるか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>測定に係る金額についても調査をお願いします。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の計画ではダイオキシン類の自主規制値を0.05ng-TEQ/m<sup>3</sup>Nとしているが、他施設では0.01ng-TEQ/m<sup>3</sup>Nとしている事例があるため、当委員会でも改めて検討をしていただきたい。</li> <li>有害物質の測定項目や頻度について、コストの話が出ていたが、ダイオキシン類の自主規制値を0.01ng-TEQ/m<sup>3</sup>Nにすることが可能であるか、コスト面と技術面からみて回答をいただきたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在行っている第2回メーカーアンケートでは、ダイオキシン類の自主規制値を0.05ng-TEQ/m<sup>3</sup>N、0.01ng-TEQ/m<sup>3</sup>Nとした場合の両方について回答をいただく予定である。次回委員会では、アンケート結果を整理した資料を提示するので、それを踏まえ改めてご協議いただきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダイオキシン類の自主規制値を検討するにあたり、0.05ng-TEQ/m<sup>3</sup>Nの自主規制値も、0.01ng-TEQ/m<sup>3</sup>Nの自主規制値もどちらも安全な数値であることを前提に、議論をしていくべきである。法規制値以上に厳しい数値を設けていることを理解しておかないと、歯止めの利かない議論になってしまう。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国的にみると0.05ng-TEQ/m<sup>3</sup>Nを自主規制値とする施設が多い。当委員会としては、安心・安全を担保したうえで、経済的合理性についてもしっかりと協議しなければならない。</li> <li>地元住民の不安を払拭するのが一番であるが、市町の財政負担も考慮していかなければならない。</li> <li>安心・安全と費用を天秤にかけることはできないが、住民負担</li> </ul>

委員	<p>につながることもあるので、現実的には検討しなければならない。今後、第2回メーカーアンケートの結果を提示いただいたうえで、協議を行うこととする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの協議で、ダイオキシン類の自主規制値を0.05ng-TEQ/m<sup>3</sup>Nとすることで決定していたが、再検討によって0.01ng-TEQ/m<sup>3</sup>とする可能性があるということで、ご理解いただけるか。</li> </ul> <p>(全員異議なし)</p> <p><b>(3) 設備計画について</b></p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料3に基づき、事務局より説明</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>設備計画について、質疑等はないか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料3 11ページ(イ)低速回転破砕機の上から2行目から「軟質物、延性物を含めた…」とあるが、「単軸式は」という主語が欠落しているのではないか。そうであれば、正確性を期すため追記いただきたい。</li> <li>同じく、12ページ(ウ)高速回転破砕機の上から3行目の「この形式」とは横型又は縦型のどちらかを指しているのか、それとも高速回転破砕機全般を指しているのかがわかりづらい。おそらく横型について記載されているかと思うので、より明確な表現にしていきたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご指摘のとおりである。追記する。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>リサイクル施設の設備については、焼却炉のメーカーによらず、指定したものを入れることができるという認識でよいか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>その認識でよい。リサイクル施設の設備に必要なものとして、仕様書に記載することで、メーカーがその設備の設置に必要なものをどのように配置するか提案をすることになる。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>破砕機を選定することで、破砕機の製造企業を特定するような</li> </ul>

	<p>ことにはならないか。</p>
コンサルタント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 破砕機については、複数の企業が製造しており、プラントメーカーによっては自社開発を行っている場合もある。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 競争が起きず、コストが増額するという懸念はないということか。</li> </ul>
コンサルタント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ そのような懸念はない。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 承知した。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 性能差については理解したが、コストについては記載がない。性能もさることながら、コストについても比較をするべきである。どれを選んでもほぼ金額が同じであれば、性能がよいものを選ぶことになるのは当然であるが、コストの比較は可能か。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現時点でコストについて調査は行っているか。それとも、性能を重視した検討のみか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的に性能を重視して選定を行った。第2回メーカーアンケートでは、破砕機ごとの費用比較については調査を行っていない。</li> </ul>
コンサルタント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今回は、特に安全性を重視して破砕機を選定している。破砕機1基ごとの金額についてメーカーから回答をいただくのは難しいと考えるが、おおよその金額について確認をする。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 無理に調査をする必要はないが、性能はいいが非常に高いものを選定していたということにならないように、確認しておく必要はある。</li> </ul>
コンサルタント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大きく金額に差があるようなことはない。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 承知した。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他に質疑等はないか。</li> </ul>



	(特に質疑等はなし)
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>設備計画については原案のとおりとし、引き続き事務局においてメーカーアンケートならびに調査を行っていただきたい。</li> </ul>
	<b>(3) 施設全体計画について</b>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料4に基づき、事務局より説明</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設全体計画について、質疑等はないか。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>1点確認であるが、資料4 1ページで「ボーリング調査結果は別紙に示す」とあるが、実際には本日の資料提示はなく、No.2とNo.5の2か所を加えた結果を改めて提示すると説明があった。資料の提示は本日の委員会中に行われるのか、次回の委員会になるのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>No.2とNo.5を記載した資料については、次回の委員会で提示させていただく。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>承知した。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画決定の際に、公園や広場等の設置を要求されると思うが、どのようなものを考えているか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画決定に公園や広場等の設置が要求されるような話は聞いていない。そのようなものが必要な場合には、施設の配置と併せて検討をしていきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園等が必要な場合、小池の上池を活用することはどうだろうか。周遊散策路として、原形を維持したまま整備できるのではないか。メダカなどを飼い、バイオアッセイとして利用することも考えられる。池の現在の利用状況はどうか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益地もなく、利用されていない。</li> </ul>

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状の地形等を有効活用できないかということで提案した。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>散策路として整備した場合、利用できるのはごみ処理施設を訪ねてきた人だけになるのか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>図表 1 - 1 でいう施設の上側に山の管理用道路を造るのではないか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>そうである。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>それを活用しつつ、山の谷筋に階段を設置することにより、一般の方も利用いただけると思うが、詳細な検討は今後行えばよいと考えている。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>新施設整備の一つとして、大きな負担なく実現できるということか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在、山を管理するための道路があるが、その付替道路を設置する予定である。それを活用いただけるのではないかと考える。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>溶結凝灰岩を主とした支持地盤が概ね 2 m から 10 m の深度に分布しているとのことであるが、起伏が激しい地形であるため、縦横断をしっかりと確認しながら計画を進めていかなければならない。場所によっては非常に軟弱な地盤になっており活用できない可能性もある。事業費にも大きく影響が出るため資料の提示をお願いする。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>みどり園では、10トンダンプ車を 1 台保有しており、リサイクル施設内に駐車しているが、図表 1 - 8 には記載されていない。記載しておく必要があるのではないか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>10トンダンプ車は、はやすクリーンセンターで保管していると聞いていたので、現計画には記載していない。基本的には現施設が有する機能を、新施設に全て移す必要があるため、10トンダンプ車の運用も踏まえて検討を行う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみ処理施設については、図表 1 - 3 のいずれかの施設に該当</li> </ul>

	<p>するということか。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分類の「災害応急対策活動に必要な施設」のうち、対象施設の2枠目「指定地方行政機関のうち上記以外のもの及びこれに準ずる機能を有する機関が入居する施設」に該当すると考える。</li> <li>・ また、施設内で石油等の燃料を貯蔵する箇所もあるため、活動内容の「危険物を貯蔵又は使用する施設」のうち、2枠目「石油類（中略）を貯蔵又は使用する施設（後略）」に該当すると考える。</li> <li>・ 一方、「平成25年度地域の防災拠点となる廃棄物処理施設におけるエネルギー供給方策検討業務報告書」（環境省）では、構造体をⅡ類、建設非構造部材をA類、建設設備を甲類とする旨の記載があり、それを採用した形になる。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4ページ破線枠内の考え方は国土交通省のものではないのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境省による報告書の抜粋である。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「国土交通省では」と始まり、「以下の考え方で設計されています」で文章が締めくくられているため、破線枠内は国土交通省の方針であると読み取れる。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料を再整理する。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他に質疑等はないか。</li> </ul> <p>(特に質疑等はなし)</p>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 方針としては本日の委員会で認められたが、さらに検討が必要となった点については、次回の委員会までに事務局でまとめていただきたい。</li> </ul>
	<p><b>3 その他</b></p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料5に基づき、事務局より説明</li> </ul>

委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料5について、質疑等はないか。</li> </ul> <p>(特に質疑等はなし)</p>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>これをもって議題は全て終了となるが、他に質疑等はないか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料3別添資料の※4において、その他の不燃物をはやすクリーンセンターで選別処理をすると記載しているが、現実的に難しいと考えるが、この計画で進めていくのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在はそのまま埋立処分しているその他不燃物を、資源化率向上のために、新施設稼働後は、はやすクリーンセンターで手選別することを提案している。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>その他不燃物の中には、有価物として回収できるものも含まれている。分別区分の変更を行えば、蛍光管や電池を資源化することも考えられるが、分別区分の変更を行わずに手選別することは、スペースや安全性の確保の面から難しい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1回整備委員会では、現状の処理体系と同様に、その他不燃物を直接はやすクリーンセンターで埋立処分する計画を示した。今回、資源化率向上のために、はやすクリーンセンターで手選別する計画としている。</li> <li>分別区分の変更がないと難しいとのご意見をいただいたことを踏まえ、その他不燃物の処理については第1回整備委員会で提示した計画に差し戻しする。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>他に質疑等はないか。</li> </ul> <p>(特に質疑等はなし)</p>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>これで本日の議事を終了する。</li> </ul> <p><b>4 閉会</b></p>

	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 次回委員会は令和3年2月初旬を予定</li></ul>
問合せ先	西脇多可行政事務組合資源循環課